



FY2018 Financial Results

# 2018年12月期 決算説明資料

株式会社ブロードリーフ [東一 3673]

Feb. 14 2019

Broadleaf Co., Ltd. All rights reserved.

# Contents

---

1. 2018年12月期 決算概要	.....	01
2. 2019年12月期 業績予想	.....	12
3. 中期経営計画(2019-2021)	.....	19

Appendix : 会社概要、売上区分、プレスリリースなど

注 IFRSは表示単位未満を四捨五入、日本基準は切捨てしています

# Chapter1

---

## 2018年12月期 決算概要

## 総括

## 連結業績

前期比増収増益。業績予想も超過 (2018年8月3日公表)

売上収益 212.9億円 (前期比17.0%増/達成率100.4%)  
営業利益 41.1億円 (前期比36.7%増/達成率105.5%)

## BL単独

ユーザー更新を確実に取り込む  
売上高 190.1億円 (前期比10.4%増)  
営業利益 34.9億円 (前期比27.3%増)

## タジマ

粗利重視の営業戦略により黒字転換  
営業利益 1.6億円 (前期営業利益-0.8億円)

## 成長基盤の確立

「Broadleaf Cloud Platform」サービス開始  
- 第1弾として次世代クラウドシステム「Maintenance.c (スタートアップ版)」投入  
- 3rd party向けパートナープログラムの提供

## 注力商品

作業分析ソフト「OTRS」の拡大 (前期比33.7%増)

## PLサマリ (連結・IFRS)

## 売上・利益ともに大幅な増収増益を達成

(百万円)	FY2018	FY2017 *1	増減額	増減率	FY2018 *3
	通期	通期			通期予想
売上収益	21,285	18,195	+3,090	+17.0%	21,200
営業利益	4,115	3,011	+1,104	+36.7%	3,900
当期利益	2,656	1,932	+724	+37.4%	2,500
1株当たり当期利益 *2	30.36円	21.81円	+8.55	+39.2%	28.58円

\*1 株式会社タジマを2017年7月25日付で子会社化しており、2017年通期における同社の売上寄与は8月～12月の5ヶ月分となります

\*2 2018年4月1日効力発生 of 株式分割 (1:2) が、2017年12期の期首に行われたと仮定し算出しています

\*3 2018年8月3日公表

ご参考：期初業績予想 (2018年2月14日) 売上収益20,400 営業利益3,300 当期利益2,100

## 売上区分別の内訳（連結・IFRS）

## システム販売とネットワークサービスが2ケタ増収

（百万円）	FY2018 通期	FY2017*1 通期	増減額	増減率
システム販売	14,206	11,737	+2,469	+21.0%
システムサポート	1,314	1,264	+50	+4.0%
保守	601	556	+45	+8.2%
サプライ	713	708	+5	+0.7%
ネットワークサービス	5,765	5,194	+571	+11.0%
ストック	4,711	4,177	+534	+12.8%
トランザクション	935	939	-3	-0.4%
PSF	634	642	-8	-1.3%
受発注等	301	296	+5	+1.6%
その他	118	78	+40	+50.7%
合計	21,285	18,195	+3,085	+17.0%

\*1 株式会社タジマを2017年7月25日付で子会社化しており、2017年通期における同社の売上寄与は8月～12月の5ヶ月分となります

## 売上区分別の内訳（単独・日本基準）

単独でもシステム販売は大幅増収、ネットワークサービスも増収継続

(百万円)	FY2018 通期	FY2017 通期	増減額	増減率
システム販売	12,559	11,069	+1,489	+13.5%
システムサポート	1,227	1,230	-2	-0.2%
保守	576	550	+26	+4.8%
サプライ	651	679	-28	-4.2%
ネットワークサービス	5,225	4,919	+305	+6.2%
ストック	4,171	3,904	+267	+6.8%
トランザクション	935	938	-3	-0.4%
PSF	634	642	-8	-1.3%
受発注等	300	296	+4	+1.6%
その他	118	76	+41	+54.7%
合計	19,012	17,219	+1,793	+10.4%

## 売上区分別の内訳（単独・日本基準）

ユーザー更新需要に注力し、自動車系のユーザー更新が牽引

(百万円)	FY2018 通期	FY2017 通期	増減額	増減率
自動車系	9,577	8,194	+1,382	+16.9%
ユーザー更新	8,729	7,215	+1,513	+21.0%
新規顧客	847	979	-131	-13.4%
非自動車系	1,806	1,848	-41	-2.2%
ユーザー更新	1,204	1,255	-50	-4.0%
新規顧客	601	593	+8	+1.4%
その他	1,175	1,026	+148	+14.5%
合計	12,559	11,069	+1,489	+13.5%

# 作業分析ソフト「OTRS」の成長

製造業を中心に幅広い業種に採用され、成長軌道に乗る

■ 売上高推移（BL単独・日本基準）

390百万円

292百万円

151百万円

131百万円



■ OTRS (Operation Time Research Software)  
IE (Industrial Engineering) の手法に基づいて作られた  
作業分析/業務最適化ソフトウェア



①作業動画撮影

②動作を要素分解

④作業再編

③分析・ムダ取り

⑤標準化

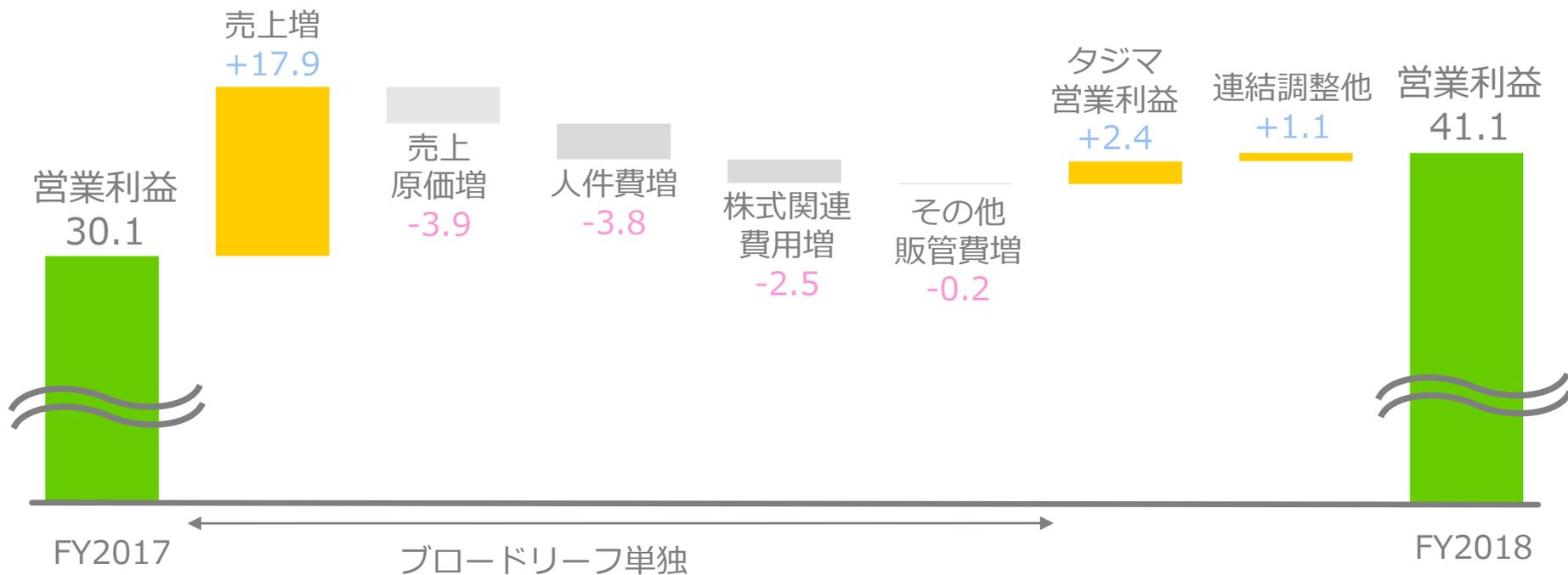
■ 導入業種

自動車/輸送機器、総合電気、機会/機械部品、コンピューター/通信機器、精密機器、半導体/電気・電子、金属・樹脂加工、科学・食品・医療、鉄・非鉄金属、建設、官公庁/教育機関 など

## 営業利益の増減内訳（連結・IFRS）

ブロードリーフの増収、タジマの連結効果により、コスト増を吸収し大幅増益

(億円)



## BSサマリ (連結・IFRS)

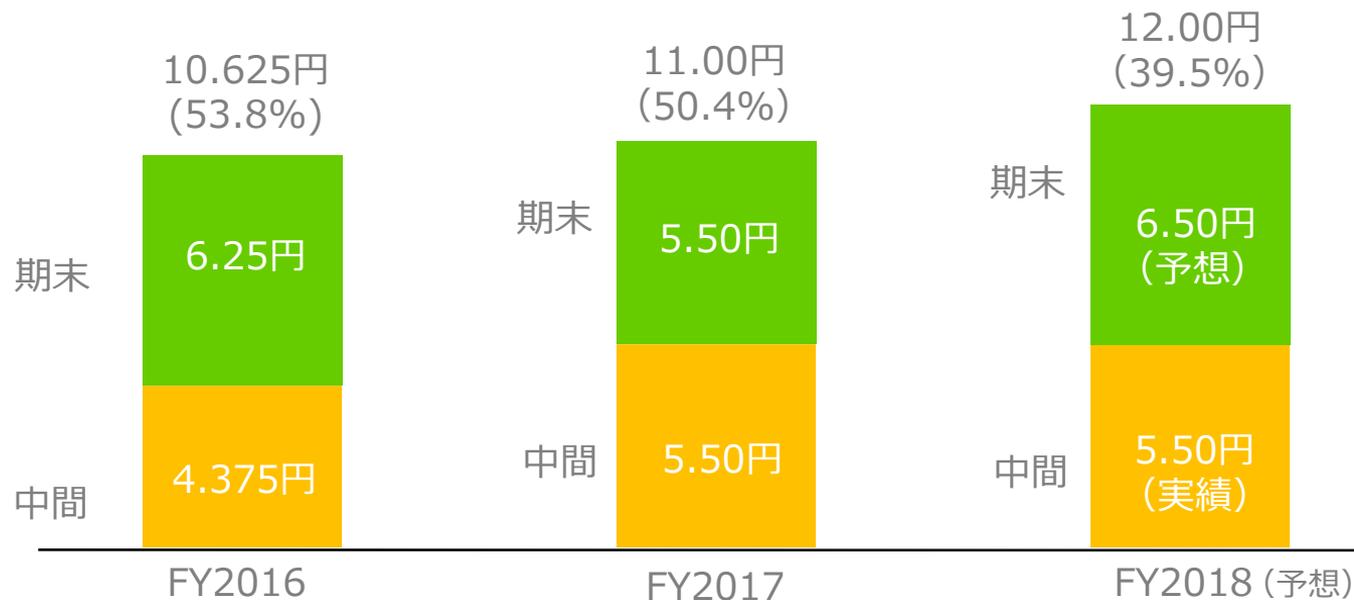
(百万円)	FY2018 期末	FY2017 期末	増減額	主な増減要因
流動資産	10,619	11,400	-782	現預金の減少-344 営業債権の減少+538
非流動資産	18,794	16,663	+2,131	無形資産の増加+1,651
資産合計	29,413	28,063	+1,350	
流動負債	7,913	7,478	+436	
非流動負債	466	848	-382	長期有利子負債の減少-376
負債合計	8,379	8,326	+54	
資本合計	21,033	19,737	+1,296	当期利益の計上+2,656 自己株式の取得による減少-1,006 配当支払いによる減少-967
負債及び資本合計	29,413	28,063	+1,350	

## CFサマリ (連結・IFRS)

(百万円)	FY2018	FY2017	増減額	主な増減要因
営業活動によるCF	4,566	2,558	+2,009	税引前利益の増加+1,116 営業債権及びその他の債権の減少+895
投資活動によるCF	-2,496	-2,072	-424	無形資産の取得による支出の増加-1,091
財務活動によるCF	-2,409	-2,251	-158	自己株式の取得による支出の増加-475
フリーCF	2,070	486	+1,585	-
現金及び現金同等物	5,627	5,970	-344	-

## 配当について

1株当たり配当は、通期で1.00円増配に



\* 2016年12月17日および2018年4月1日効力発生 of 株式分割 (1:2) 調整後金額  
 ご参考：期初配当予想 (2018年2月14日公表) 年間配当11.00円 (中間5.50円、期末5.50円)

## Chapter2

---

### 2019年12月期 業績予想

## 業績予想の概要

---

### 連結業績

売上、営業利益ともに過去最高を予想

売上収益 22,000百万円（前期比3.4%増）

営業利益 4,500百万円（前期比9.4%増）

### 成長基盤

「Broadleaf Cloud Platform」上のサービス展開を積極化

→ 次世代クラウドシステムの提供領域を拡張

→ 3<sup>rd</sup> partyと連携した新サービスを拡充

### 注力商品

「OTRS」の海外拡販強化

→ グローバルパートナーとの提携

### 成長投資

高度なテクノロジーを持つ企業への投資を積極化

→AI（データ予測）、ブロックチェーン、VR/AR 他

## 業績予想（連結・IFRS）

売上、営業利益ともに過去最高を更新し、1株当たり年間配当を13.00円と予想

(百万円)	FY2019	FY2018		FY2019		FY2018		
	通期予想	通期	増減額	増減率	上期予想	上期	増減額	増減率
売上収益	22,000	21,285	+715	+3.4%	10,600	10,090	+510	+5.1%
営業利益	4,500	4,115	+385	+9.4%	1,700	1,542	+158	+10.2%
当期利益	2,800	2,656	+144	+5.4%	1,000	998	+2	+0.2%
1株当たり当期利益	32.07円	30.36円	+1.71円	-	11.45円	11.39円	+0.06円	-
1株当たり配当金	13.00円	12.00円	+1.00円	-	6.50円	5.50円	+1.00円	-

## 売上区分の変更について

プラットフォームを起点とした成長をより明確にするため売上区分を変更

新売上区分（2019年12月期以降）

### プラットフォーム

- ・ 基本  
（「.NS2」「.NS3Ai」の基本料、サーバー利用料  
データベース利用料、クラウド利用料）
- ・ 部品トランザクション
- ・ サポート
- ・ OTRS（クラウド）
- ・ データ分析等

### アプリケーション

- ・ 業種別アプリケーション
- ・ OTRS（スタンドアロン）
- ・ PC等機器

## 売上区分別の予想（連結・IFRS）

## アプリケーションからプラットフォームへのシフトを進める

(百万円)	FY2019	FY2018			FY2019	FY2018		
	通期予想	通期実績	増減額	増減率	上期予想	上期実績	増減額	増減率
プラットフォーム	9,540	7,079	+2,461	+34.8%	4,580	3,494	+1,086	+31.1%
基本※	6,910	4,711	+2,199	+46.7%	3,350	2,334	+1,016	+43.5%
サポート	1,320	1,314	+6	+0.5%	650	649	+1	+0.1%
部品トランザクション	1,010	935	+75	+8.0%	480	453	+27	+6.0%
データ分析等	300	118	+182	+153.2%	100	58	+42	+73.8%
アプリケーション	12,460	14,206	-1,746	-12.3%	6,020	6,596	-576	-8.7%
業種別	11,860	13,816	-1,956	-14.2%	5,770	6,415	-645	-10.1%
OTRS	600	390	+210	+53.8%	250	181	+69	+38.1%
合計	22,000	21,285	+715	+3.4%	10,600	10,090	+510	+5.1%

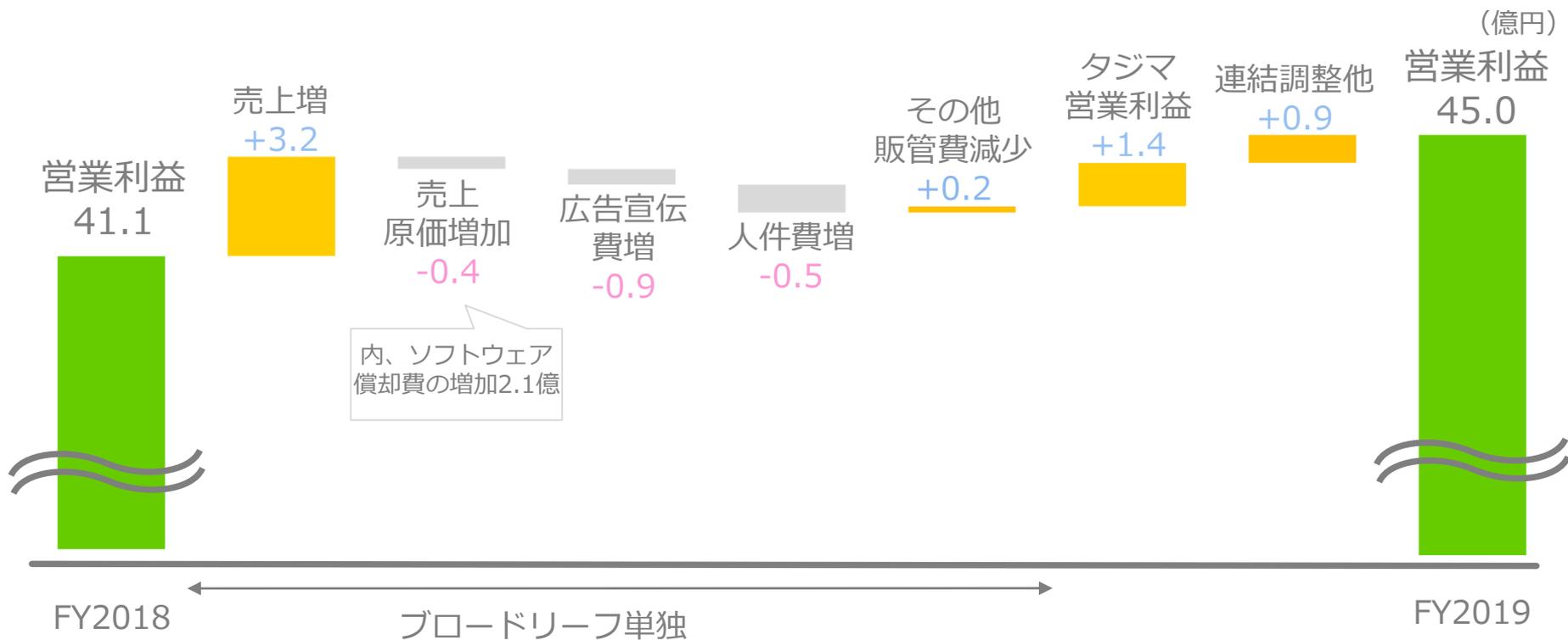
※ FY2018は、.NS2、.NS3の基本を未考慮

## [ご参考]旧売上区分別の予想 (連結・IFRS)

(百万円)	FY2019 通期予想	FY2018 通期	増減額	増減率	FY2019 上期予想	FY2018 上期	増減額	増減率
システム販売	14,360	14,206	+154	+1.1%	6,910	6,596	+314	+4.8%
システムサポート	1,320	1,314	+6	+0.5%	650	649	+1	+0.1%
保守	650	601	+49	+8.2%	320	291	+29	+10.1%
サプライ	670	713	-43	-6.0%	330	359	-29	-8.5%
ネットワークサービス	6,320	5,765	+555	+9.6%	3,040	2,844	+196	+6.9%
ストック	5,010	4,711	+299	+6.3%	2,460	2,334	+126	+5.4%
トランザクション	1,010	935	+75	+8.0%	480	453	+27	+6.0%
PSF	650	634	+16	+2.5%	310	304	+6	+2.1%
受発注等	360	301	+59	+19.6%	170	149	+21	+13.9%
その他	300	118	+182	+153.2%	100	58	+42	+73.8%
合計	22,000	21,285	+715	+3.4%	10,600	10,090	+510	+5.1%

## 営業利益の増減内訳（連結・IFRS）

当社単体の増収高価に加え、タジマ増益が寄与



## Chapter3

---

### 中期経営計画 (2019-2021)

## 基本方針

### 基本 方針

パッケージベンダーからプラットフォームへの進化を加速

### 目標

2021年12月期 売上収益 **270**億円  
プラットフォーム売上比率 **60%**超

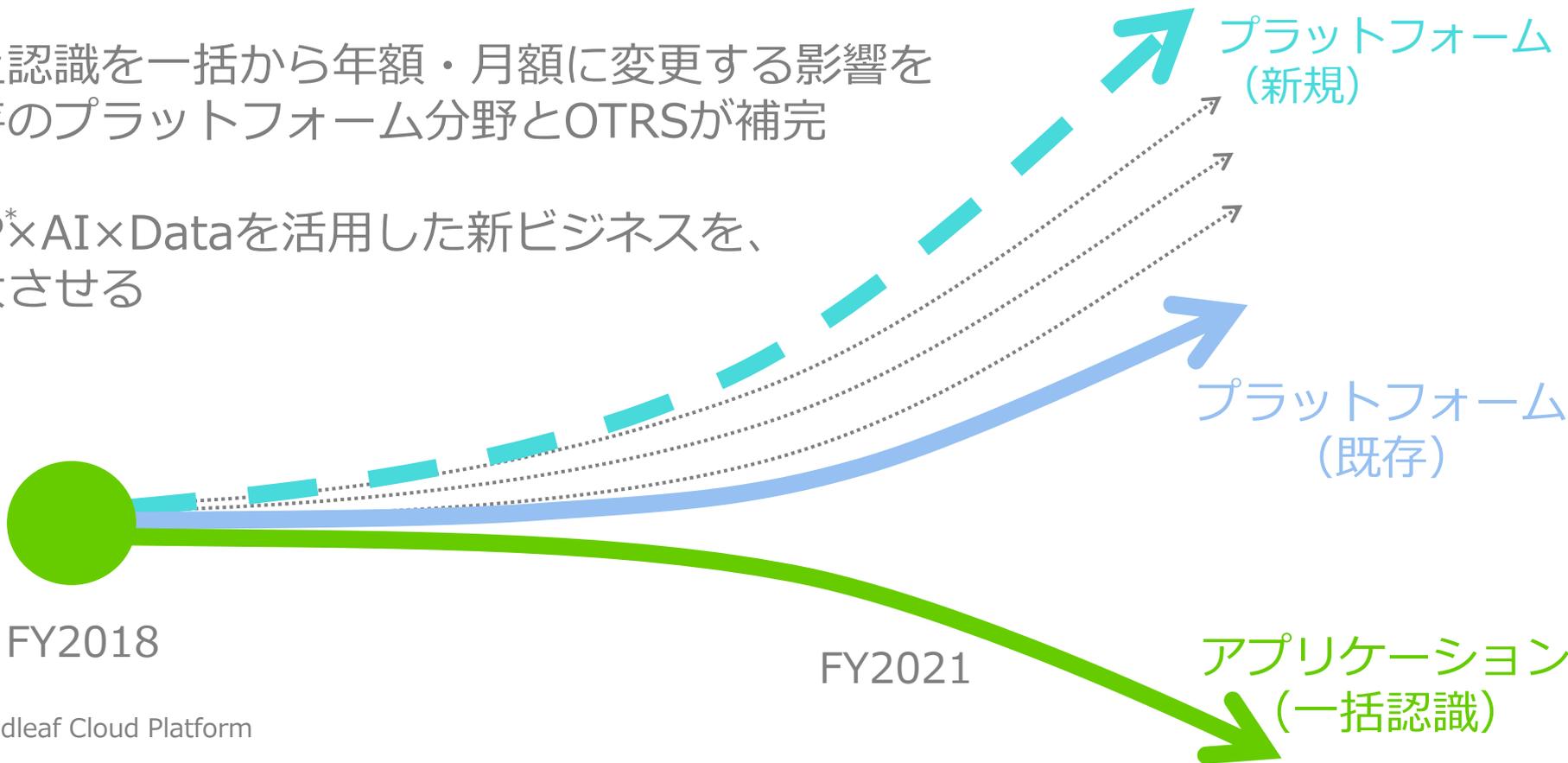
### 重点 戦略

- クラウドの本格展開
- OTRSの本格グローバル展開
- M&A/投資/アライアンスの積極推進
- ブロードリーフ経済圏の拡大

## 成長イメージ

売上認識を一括から年額・月額に変更する影響を  
既存のプラットフォーム分野とOTRSが補完

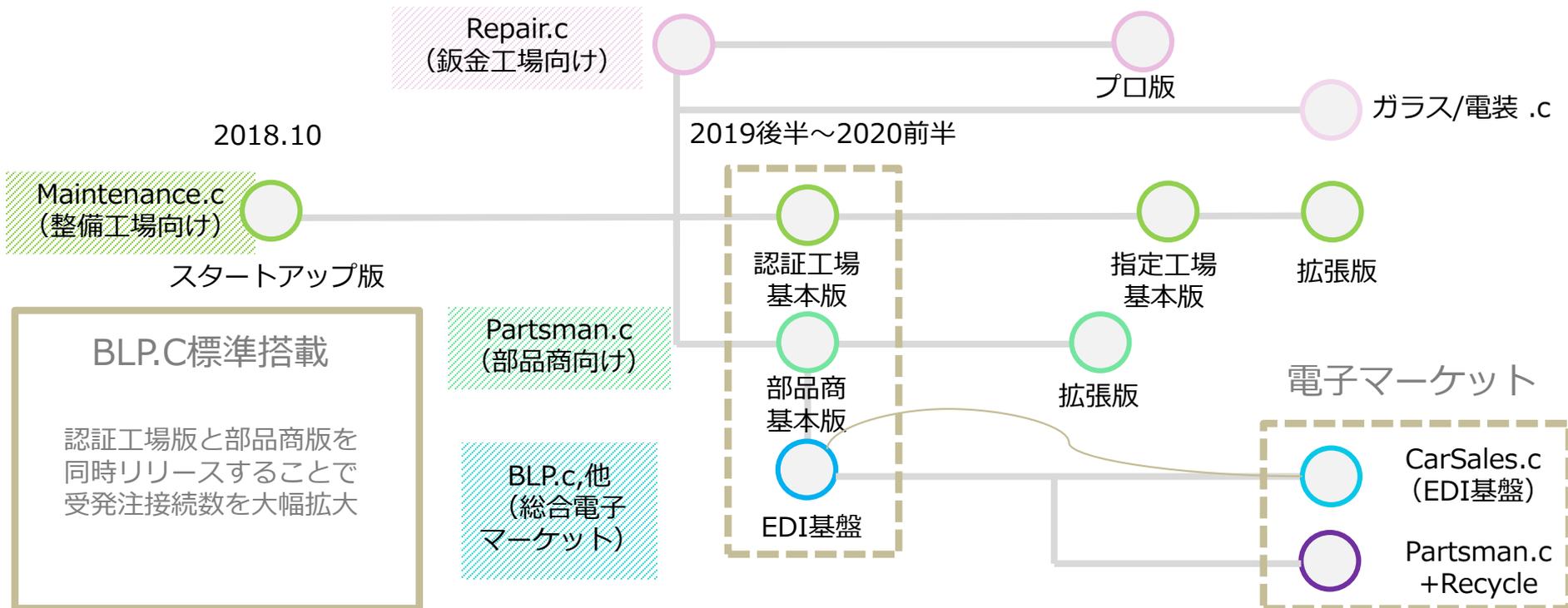
BCP\*×AI×Dataを活用した新ビジネスを、  
拡大させる



※Broadleaf Cloud Platform

# 主要サービスのリリース予定

一括から年額・月額への影響は、2020年のクラウド版リリース後

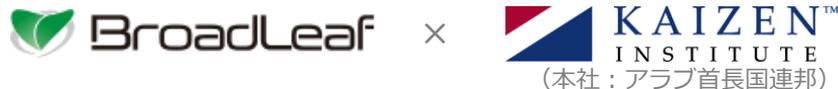


## OTRSのグローバル展開

チャネルの拡大や次世代版開発、投入により着実な成長を狙う

海外販売チャネルの強化

Kaizen Global Enterprisesと  
戦略的パートナーシップ構築に向け基本合意  
(2019年1月)



新OTRS(クラウド)の開発

モーションバンク構想への準備

ヒトの動作や作業分析や生体情報を解析し、  
ロボットティーチングなどデータサービスを展開



中国、北米、ASEAN、EU、アフリカ各地域のチャネル開発・強化

## M&amp;A/投資/アライアンスの積極推進

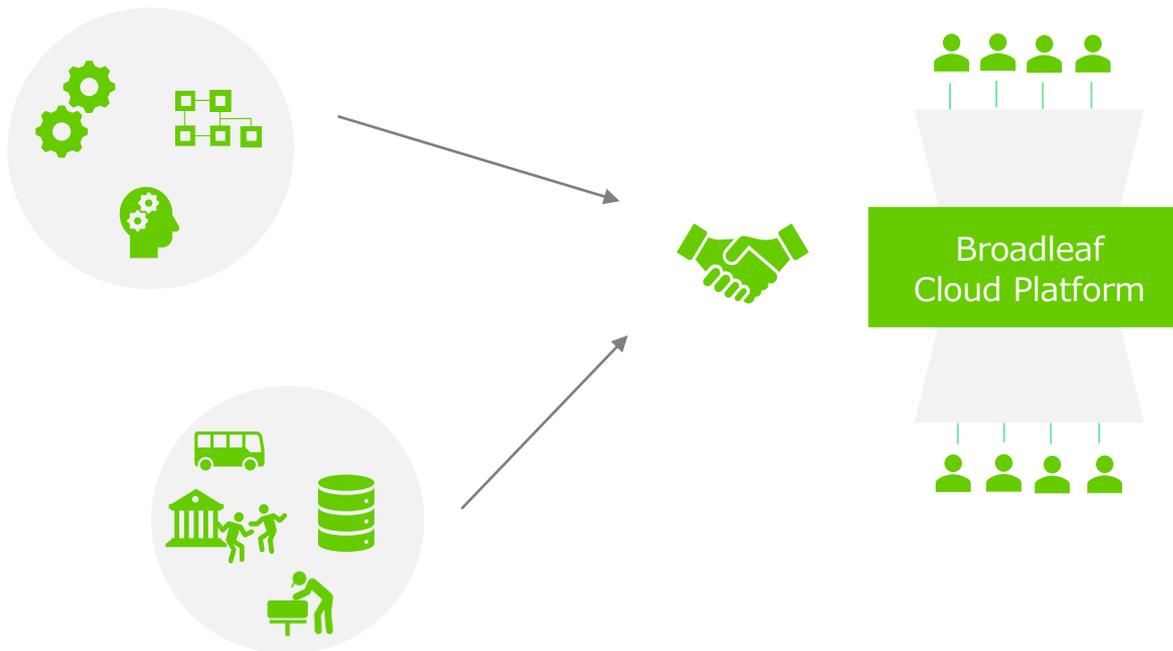
「AI」「ブロックチェーン」「データ保有企業」等  
当社プラットフォームの価値を高める要素を獲得

## テクノロジー企業

- ① AI企業
- ② ブロックチェーン
- ③ その他 (VR/AR等)

## データ保有企業

- ④ モビリティ
- ⑤ レジャー・観光
- ⑥ IoH

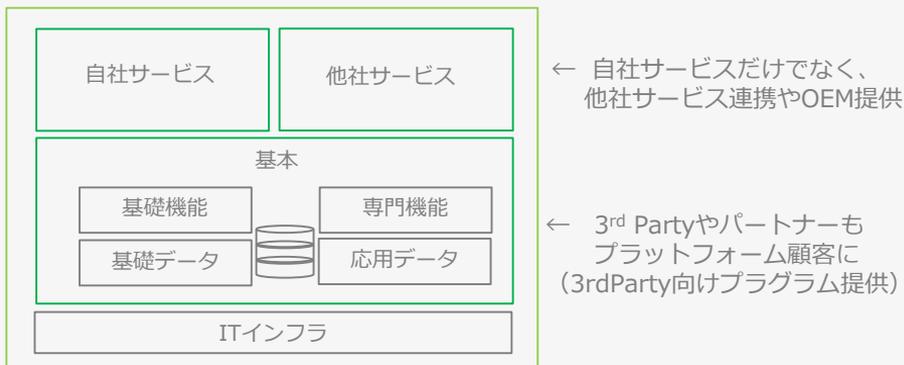


# 「Broadleaf Cloud Platform(BCP)」 経済圏拡大

## 既存の領域と親和性の高いサービスを中心にビジネス領域を拡大

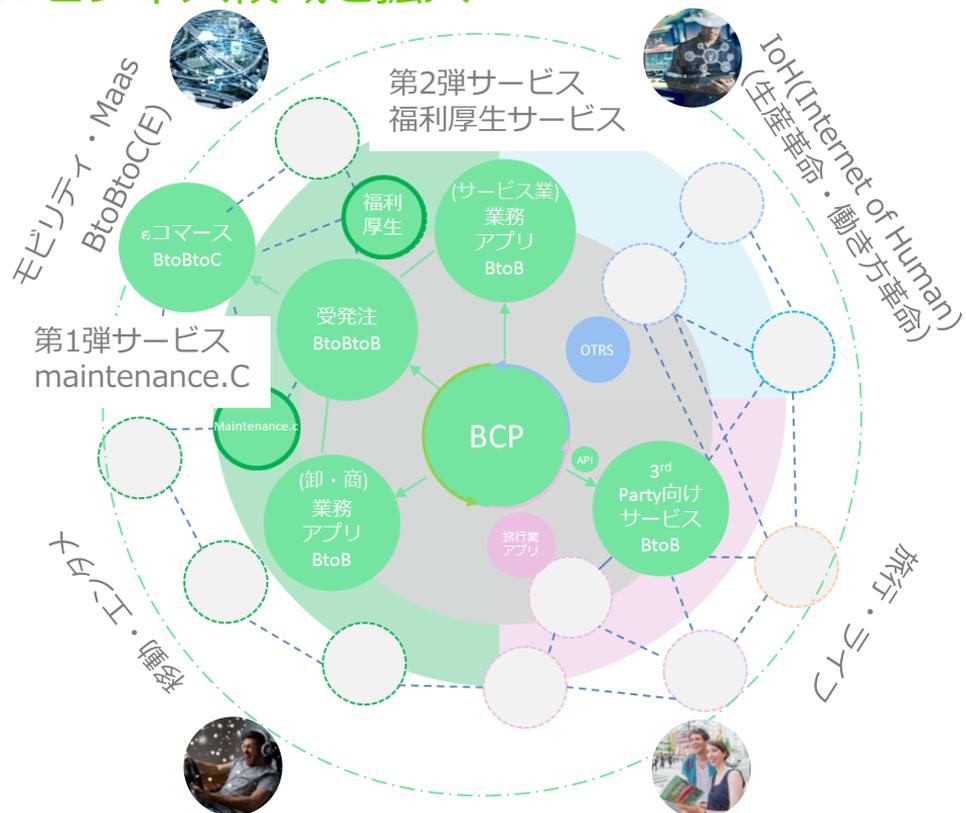
自社サービスから収集したデータを活用した新サービス。  
モビリティ・MaaS企業や異業種（旅行、生活）データと連携した  
新サービスや、IoHビジネス展開も模索

### Broadleaf Cloud Platform(BCP)



□ AI、ブロックチェーン/スマートコントラクト、電子決済など  
ビジネスに必要な機能を拡充。他サービスのデータ獲得、  
連携強化により領域を拡大 (BtoBtoCへ)

□ 各領域で獲得するデータ統合、予知・予測から  
新サービスを創出





## Appendix

---

会社概要、売上区分、プレスリリースなど

## 会社概要

会社名	株式会社ブロードリーフ
代表者	大山 堅司
上場市場	東京証券取引所市場第一部 (3673) 2013年3月22日上場
創業/設立	2005年12月/2009年9月
資本金	7,148百万円 (連結)
事業内容	自動車アフターマーケット事業者の業務を支えるITネットワークシステム および同プラットフォーム上でのサービス提供  (業務アプリケーション、異業種間連携プラットフォーム、 リサイクル部品マーケットプレイス、自動車関連コンテンツの開発等)
本社所在地	東京都品川区東品川4-13-14 グラスキューブ品川8F
営業拠点	全国 29拠点(2019年1月末現在)
開発拠点	全国 3拠点 (札幌・東京・福岡)

## 売上区分の説明

### プラットフォーム

■ 基本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車関連の車両情報や、日々更新される部品関連情報のデータベースを提供</li> <li>・ネットワーク型システムの利用に必要なサーバー維持の対価</li> <li>・BCPの基本機能を提供（.NS2 / .NS3 / .C（Maintenance.Cなど））</li> </ul>
■ サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当社システム販売顧客への業務アプリケーション保守サービス、ハードウェア保守サービスの提供</li> <li>・業務アプリケーションで利用する専用帳票類やOAサプライ品の仕入・販売</li> </ul>
■ 部品トランザクション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル部品の在庫情報を共有するリサイクル部品流通ネットワーク「パーツステーションNET」を運営 部品売買の際に取引額の決済を代行し手数料を徴収</li> <li>・自動車部品の電子受発注システム「BLパーツオーダーシステム」を提供</li> <li>・整備事業者等にタブレット型業務端末「CarpodTab」を提供 他</li> </ul>
■ データ分析等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蓄積された匿名化データを分析し、3<sup>rd</sup> Partyへ提供</li> </ul>

### アプリケーション

■ 業種別	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業種特化型業務アプリケーションの開発・販売 （業種：自動車整備、钣金、車販、自動車部品商、部品メーカー、携帯販売店、旅行など）</li> <li>・PC本体やプリンタ等の仕入・販売 他</li> </ul>
■ OTRS	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業分析・最適化ソフトウェアの開発・販売</li> <li>・PC本体やプリンタ等の仕入・販売 他</li> </ul>

## AI搭載のネットワーク型業務支援システム

### ネットワーク型業務支援システム「.NS」シリーズに新商品「SF.NS3Ai」が登場 ～AI機能により整備伝票作成時の業務効率が飛躍的に向上～

#### (リリース抜粋)

「SF.NS3Ai」には、新たに『AI機能』『新BLコード』を搭載しており、これらの機能をお使いいただくことで、日常業務の効率化だけでなく、カーオーナーに対するサービス品質の向上、新しい価値の提供を実現します。

#### 特徴

##### ■ AI機能

事業所内、同一グループ内で作成された見積りを学習し、使用頻度や関連性の高い「作業・部品」を自動表示。担当者の経験差から発生する抜け漏れを防止します。

##### ■ 新BLコード

部品コードを従来の4桁から11桁へ増やし、該当部品の種類まで特定できるデータへ拡張。地域部品商への納期・価格の問合せにおいて、これまで以上に自動的な取引が増えるため、電子取引の利便性が向上します。

##### ■ 部品自動問合せ

見積りを作成しながらワンクリックで部品の問合せ・発注をする機能を実装。カーオーナーへの迅速な見積り提案と部品手配を実現しました。

#### 提供開始日

2018年9月7日(金)

#### 価格

価格基本価格900,000円（月額契約または5年リース契約）

※初期導入費用は別途必要です。

※このほかにネットワーク利用契約が必要です。

※拡張機能の追加契約も可能です。

# 次世代クラウドシステム「Maintenance.c」

## 『Broadleaf Cloud Platform』 第1弾クラウドサービス Super Frontmanシリーズ「Maintenance.c（メンテナンスドットシー）」の提供を開始

### （リリース抜粋）

『Broadleaf Cloud Platform』上で稼働する、新しいクラウドサービス Super Frontmanシリーズ「Maintenance.c」は、自動車整備業務に欠かせない機能を厳選し、まずはスタートアップ企業向けサービスとして提供いたします。

### 概要

Super Frontmanシリーズ「Maintenance.c」は、インターネットブラウザ上で顧客・車両管理・伝票発行・申請書類作成ができる自動車整備事業者向けのクラウドサービス※1です。整備業務に欠かせない機能を搭載、さらに、使いたい機能※2を追加することができます。

また、複数のAIエンジンによる、高度な情報処理・データ予測・レコメンド等が業務のさらなる効率化を実現します。

※1特定知識や専用環境がなくても、インターネットに接続していれば、簡単に導入・利用開始できるシステム

※2機能は順次拡張していく予定です。

### （特徴）

- 直感的でわかりやすいレイアウトと操作感
- 事業所内、同一グループ内で作成された伝票の内容をAIが自動学習
- 入力補助で伝票作成作業の抜け漏れ防止
- 迅速丁寧な顧客対応を実現する管理画面
- インターネットでの利用申込み、オンライン決済が可能

**提供開始日** 2018年10月1日(月)

### 価格

1ライセンス：5,000円/月（税抜）

（プラットフォーム利用料3,000円＋整備アプリケーション利用料2,000円）

※その他に伝票発行料金（500円～）がかかります。

※オプション追加料金は別途必要です。

### Broadleaf Cloud Platformとは

「Broadleaf Cloud Platform」は、IT革新を実現するためのクラウドベースのデジタルビジネスプラットフォームです。大量データの収集・高速検索・分析、業務APIサービスの組み合わせによる短期間でのサービス実装、利用規模に合わせた高いスケーラビリティが特徴です。本プラットフォーム上で稼働するサービスの第一弾として、ブロードリーフが開発した次世代システムの提供を開始します。今後は、本プラットフォームを起点に、業種・業界を超えた様々なパートナー企業と連携※し、自動車関連ビッグデータ・インフラを活かした新たなビジネス、画期的なサービスを提供していきます。

※本プラットフォーム上でシステム・サービスを提供することができる「企業向けパートナープログラム」を準備中です。

# Kaizen Global Enterprisesと基本合意書を締結

## Kaizen Global Enterprisesと 戦略的パートナーシップ構築に向けた基本合意書を締結

### (リリース抜粋)

KGEは、世界各国で「KAIZEN」の登録商標を保有し、世界60か国以上において、あらゆる業種を対象にコンサルティング活動を提供するKAIZEN Institute（以下 KI）のホールディング会社です。全組織が一丸となって、常によりよく活動できる組織文化と体系を作り上げる「KAIZEN」という概念のもと、KIは、自社開発のKaizen Business System（KBS）に基づく経営コンサルティングから現場レベルのカイゼンまで、包括的なサービスを提供しています。

ブロードリーフのITソリューションにKIのナレッジを応用し「OTRS」を起点としたIoH（Internet of Human）事業のグローバル展開をこれまで以上に加速していくことを目的としており、今後両社で戦略的パートナーシップ構築に向けた協議を進めてまいります。

### 基本合意内容

ブロードリーフとKGEは、2019年3月末までに以下項目について協議を進める。

- ・パートナーシップの共通の使命とビジョンの設定
- ・両社間でのナレッジの共有
- ・OTRSとKBSの互換性確認
- ・組織文化づくりを促進するためのプラットフォーム構築の検討
- ・契約モデルの検討

### 作業分析/業務最適化ソフトウェア「OTRS」

映像による動作分析、時間分析などの機能により、生産・製造現場の作業時間短縮・省力化・コスト低減ができるソフトウェア。IE（産業工学）の手法に基づいてつくられたOTRSは、カイゼン活動を効率よく、スピーディに実現でき、その用途は製造業だけでなく、教育訓練の材料や技術伝承のツールとして、さまざまな現場に広がっている。

代表者	Managing Director Risa Cox
所在地	Swiss Tower, Floor 10, Suite 1003-02, Cluster Y, JLT, Dubai, UAE
事業内容	KAIZENを中心とした実践的なコンサルティングと教育を、QCD（Quality・Cost・Delivery）域のみならず、会社や組織の成長能力と変更機能を向上するサービスを総括的に提供すべく、カイゼン・インスティテュート・グループを統率
URL	<a href="https://www.kaizen.com">https://www.kaizen.com</a>

# 免責事項

本資料に記載されている業績予想および将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき当社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

したがって、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

【お問い合わせ先】  
株式会社ブロードリーフ  
IR・広報室  
E-Mail : [broadleaf-ir@broadleaf.co.jp](mailto:broadleaf-ir@broadleaf.co.jp)